

参加無料

県民公開講座

がんになっても パパママに

将来の家族のために

近年がん治療の進歩に伴い、
がん治療後の妊娠出産を前向きに
検討できるようになってきました。
がんと診断されたとき、
がん治療だけでなく
将来パパやママになるために、
今できること、知っておいて
ほしいことについて、
各専門家がお答えします。



2024年

2/3 土

14:00~16:00 会場 三井ガーデンホテル千葉 4階/天平

● Program

基調講演

若年層の
がんについて

講演 **1**

薬による
妊娠への影響

講演 **2**

がん治療後の妊娠の
ために今できること

講演 **3**

がん・生殖医療の
相談

講演 **4**

がん治療後、
妊娠に向けて

主催



千葉県がん・生殖医療
ネットワーク



県民公開講座「がんになってもパパママに」

基調講演 「若年層のがんについて」

一般社会において若年層とは15歳から34歳を指しますが、医療分野においては最近15歳から39歳をAYA(アヤ)世代と呼び、若年層としています。AYA世代ががん罹患された場合、就学・就労・結婚・出産・経済的問題など中高年者に比べて人生を左右する様々な不安や悩みを抱えることになり、それぞれに応じた支援が必要になります。本講演では、AYA世代がん患者の中でも一番多い乳癌患者さんの治療に関する包括的内容から特に妊孕性(ニンヨウセイ)温存「妊娠するための力を保つこと」というキーワードに迫っていきたいと思います。



講演者:山本 尚人

PROFILE/

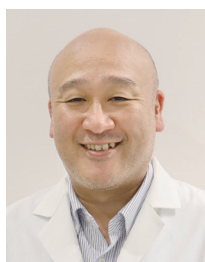
- 千葉県がんセンター診療部長
- 乳腺センター長
- 千葉県がん・生殖医療ネットワーク運営委員
- 日本外科学会 専門医・指導医
- 日本乳癌学会 専門医・指導医・評議員

講演 1 「薬による妊娠への影響」

がん治療の多くにおいて、抗がん薬を用いた治療が行われます。抗がん薬が与える生殖機能への影響について、なるべくわかりやすく解説いたします。

講演者:米村 雅人

PROFILE/2000年3月千葉大学大学院医療薬学専攻修了、同年4月国立災害医療センター入職、2002年より国立がんセンター中央病院勤務を経て、2009年より国立がん研究センター東病院にて勤務。
■博士(臨床薬学) ■がん指導薬剤師 ■がん・生殖医療ナビゲーター



講演 2 「がん治療後の妊娠のために今できること」

がん治療の中には、将来の妊娠に影響を及ぼす可能性のある治療があります。がん治療開始前に知っておくべき情報と、妊娠の可能性を残す方法についてお伝えします。

講演者:吉野 有希子

PROFILE/千葉大学医学部附属病院看護部所属 ■千葉県がん・生殖医療相談支援センターコーディネーター ■不妊症看護認定看護師 ■認定がん・生殖医療ナビゲーター



講演 3 「がん・生殖医療の相談」

がんの治療と将来の妊娠・出産を考えるのは、とても大変なことです。妊孕性温存は、がん治療開始前の短期間で行うため、なるべく早く決めなくてはなりません。がん・生殖医療の相談について紹介します。

講演者:奈和 和子

PROFILE/亀田総合病院・亀田IVFクリニック専従勤務 ■がん・生殖医療専門心理士(がんと生殖の両方の知識を持つ専門のカウンセラー) ■生殖心理カウンセラー ■臨床心理士 ■公認心理師



講演 4 「がん治療後、妊娠に向けて」

がんの治療が終わった後、実際に妊娠を目指す際に、患者さんご自身の体調についてがん治療の主治医や生殖医療医によく相談する必要があります。患者さんと医療者と一緒に考えるべきことについてお伝えします。

講演者:齊藤 佳子

PROFILE/千葉大学医学部附属病院婦人科、千葉県がん・生殖医療相談支援センター所属。不妊診療、がん・生殖医療に従事 ■日本産科婦人科学会産婦人科専門医



講演後には事前に頂いたご質問にお答えするパネルディスカッションを予定しています。

日程 2024年 2月3日(土)

開演 14:00~16:00 (開場13:30)

対象 一般市民、医療従事者

定員数 100名(先着順)

進行 司会:市川 智彦(千葉大学泌尿器科学 教授)
開会挨拶:甲賀 かをり(千葉大学産婦人科学 教授)
閉会挨拶:市川 智彦

会場 三井ガーデンホテル千葉 4階/天平

住所 千葉市中央区中央1-11-1

アクセス JR「千葉」駅 東口 徒歩7分

会場へのアクセスは
QRよりご確認下さい



参加お申し込み

お申し込みは右記QRコードからお願いいたします。
お問い合わせ/043-226-2749(県民公開講座事務局)

